



キリスト教学校が若者に何を伝えていけるのか

「木の上」にまで届く声 ～ザアカイ物語を通して

講師：塩谷 直也 氏

2019年 6月21日(金) 15:10～16:40

関西学院会館 光の間



塩谷 直也 (しおたに なおや)

青山学院大学 法学部教授 大学宗教部長

1963年宮崎市生まれ。国際基督教大学教養学部卒業、東京神学大学修士課程修了(組織神学)。1992年より日本キリスト教団牧師として愛知県の知立伝道所、中京教会、東京の梅ヶ丘教会で働き、2008年より青山学院大学に移り、現在大学宗教部長。法学部教授。

「あいするっていうことはだれかがかなしそうにしているとき、なぐさめてあげること…いっしょにあそぼうってさそうこと」(インゲル・ヨハンネ・アルネセン&アウド・ランボー) ザアカイはイエスを「見てやろう」とイチジク桑の木に登ります。しかしその姿をイエスが先に発見し「あそぼうってさそう」のです。見ようとする者がすでに「見られている」。この他者感覚以上に、人を成長させるものはありません。